

市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2000年 9月号

平成12年8月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

ボランティア国際年



2001年はボランティア国際年です。

【NPO室から】

今月分の申請は2団体、今までに成立したNPO法人は53団体です。

今月成立した特定非営利活動法人(NPO法人)団体は4つです。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

9月～11月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

女性起業家支援やパソコン講師、読み聞かせ、津まつりでのゴミゼロを目指すボランティアに、森林スタディツアーと各分野からメンバー募集の声が集まりました。あなたの興味を引いたのはどのグループですか?

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は3件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ伊勢 代表 ^{つじ} ^{かずこ} 辻 伽寿子さん

楽しく音楽を聴くように、色々な国の言葉を聞き覚えることができるとしたらどう思いますか?言語交流研究所ヒッポファミリークラブはそんな活動を行っているグループです。名前からはなんだか難しそうに感じますが、その活動は大人から子どもまで始終にこやかな笑顔で行われているのです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

【NPO室より】

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は4団体ありました。成立した団体は2団体です。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1) 名称、(2) 申請年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 縦覧期間、(6) 認証の種別、(7) 定款に記載された目的。

【66】

- (1) 特定非営利活動法人小規模多機能集団サービスみさと

(2) 平成12年7月18日

(3) 西村勝利

(4) 桑名市大字下深谷部5080番地25

(5) 平成12年9月18日まで

(6) 設立

(7) この法人は、在宅で援助が必要な高齢者、障害者（児）やその家族、その他の手助けを必要とする人々に対して、住民参加と助け合いの精神のもとに、地域に根ざしたサービス活動を提供し、すべての人々が健やかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする。

【67】

- (1) 特定非営利活動法人NPOこころサポートセンター

(2) 平成12年8月10日

(3) 神田 博

(4) 四日市市赤堀南町2番25号

(5) 平成12年10月10日まで

(6) 設立

(7) この法人は、こころの悩みを持つ人々に対して、こころのサポートに関する事業を行い、もって社会福祉に寄与することを目的とする。

(平成12年7月16日～平成12年8月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人

- (1) 名称、(2) 認証年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、

(5) 定款に記載された目的、(6) 登記年月日

【50】

- (1) 特定非営利活動法人わたぼうし

(2) 平成12年7月10日

(3) 館 忠蔵

(4) 阿山郡伊賀町希望ヶ丘西4丁目2番7号

(5) この法人は、伊賀地域の住民に対して、子育ての環境の向上に関する事業、高齢者、障害者等への支援事業、及びリサイクル等の環境保全事業を行うことにより、安心で生きがいのある暮らしを実現し、もって、健康で文化的な生活による、まちづくりに寄与することを目的とする。

(6) 平成12年7月14日

【51】

- (1) 特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター

(2) 平成12年7月10日

(3) 釜谷恵子

(4) 松阪市新町926番地

(5) この法人は、子どもを視野においた個人や諸団体の連絡、支援、交流などを行うことにより子どもの健全育成を図る活動をさらに推進し、もって子どもの生活体験、鑑賞体験、社会参画の機会の拡充を図り、かつ、子どもの全人格的な成長に寄与することを目的とする。

(6) 平成12年7月17日

【52】

- (1) 特定非営利活動法人紀南国際交流会

(2) 平成12年7月10日

(3) 戸地 功

(4) 南牟婁郡紀宝町平尾井1395番地

(5) この法人は、地域の特性を生かした幅広い国際交流活動を行うことにより、国際親善を図り、もって世界の友好と平和に寄与することを目的とする。

(6) 平成12年7月26日

【53】

- (1) 特定非営利活動法人平成・伊賀@LAN

(2) 平成12年7月31日

(3) 太田正人

(4) 上野市東町2955番地

(5) この法人は、主に三重県伊賀地域（上野市、名張市、伊賀町、阿山町、島ヶ原村、大山田村、青山町）において、市民及び市民活動団体・公的機関・地域産業等の情報化を促進し、生活の利便向上や地域の振興を図るため、主にインターネットを活用した事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

(6) 平成12年8月1日

(平成12年7月16日から平成12年8月15日登記完了届出分)

9月～11月に開催される

市民活動に関する 講演会やイベントです

桑名市に民設民営の

「市民活動センターわたし」オープン

●とき／9月1日（金）

●ところ／市民活動センターわたし（桑名市今北町）

●参加費／一般500円（懇親会は別途700円）

●内容／市民活動ネットワーク平成の町割会が開設する「市民活動センターわたし」。9月1日、AM9:30からご近所のみなさんと簡単な開所式を行います。また、PM7:00からは同センター2階の「サロンわたし」で、開設記念講演と市民活動交流会、懇親会を行います。記念講演は伊賀上野のまちづくりセンターウィリアムテルズ・アップルの代表である中村伊英さんに、「ウィリアムテルズのりんごにかける思い」というテーマで、民設民営センターのいろいろなお話を伺うほか、「市民活動ネットワーク平成の町割会を活かしてやってみたいこと」というテーマで、市民活動交流会も行います。

●申込・問い合わせ先／511-0006 桑名市今北町53 市民活動ネットワーク平成の町割会 Tel.0593-27-2700 Fax.0593-27-2733 E-mail info@watashi.gr.jp ホームページ <http://www.watashi.gr.jp>

広がる市民のまちづくり

—みえ北市民活動ネットワーク展—

●とき／9月8日（金）～13日（水）

●ところ／市民活動センタープラザわたし1階レンタルスペース（桑名市今北町53 Tel.0594-27-2700）

●内容／伊賀上野のウィリアムテルズ・アップル、四日市NPOひろば（寺子屋プロジェクト）、菟野のチャンバグループ、桑名・員弁の市民活動ネットワーク平成の町割会など、9月16日に多度町で行われる「広域のまちづくり」をテーマとした円卓会議出席者を中心に市民活動のネットワーク拠点を紹介します。企画は全国のNPO情報をホームページで紹介している「ひと・まち・未来ワーク」です。

●申込・問い合わせ先／ひと・まち・未来ワーク

Tel.0567-26-7715

ホームページ <http://www2s.biglobe.ne.jp/~npom-W>

みんなで考え、みんなで使う

津センターパレス・市民活動スペース活用のための パネルディスカッション開催

- とき／9月10日(日)開場PM1:00 開会 PM1:30
- ところ／津市社会福祉センター4階ホール(津市丸の内27-10津警察裏)
- 内容／津センターパレス2・3階に設置準備が進んでいる、市民活動やボランティア活動のためのスペース活用方法についてパネルディスカッションを開催します。ダイエー撤退後、津市の中心部にポッカリ空いた空間が市民活動・ボランティア活動のための拠点に生まれ変わります。現在、津市市長公室政策課によって具体的なスペース割り作業がすすまられています。これまでの経緯を簡単に説明すると、今年6月に開かれた津市議会において、津市長よりかねてから建設を検討していた津警察署跡地への福祉と文化の拠点施設建設計画の凍結が発表され、同時にセンターパレス2・3階に、津市社協・女性活動センターなどの市民活動支援・ギャラリーの3つの機能の設置計画が発表されました。津市社協に活動の拠点を持つ津市ボランティア連絡協議会では、このスペースを津市の市民活動・ボランティア活動の活性化に役立てるためには市民サイドからの提案が不可欠であると考えパネルディスカッションを開催します。
- 申込方法／事前の申込などは不要です。
- 主催・問い合わせ先／津市ボランティア連絡協議会会長 萩野
Tel.059-225-1837

はまひろがの会

【バードウォッチングin高松海岸】

- とき／9月12日(火)AM10:00～正午(小雨中止)
- ところ／天カ須賀新町企業団地北詰集合(四日市市)
- 参加費／100円(保険代など)
- 持ち物／帽子、タオル、歩きやすい服装、筆記用具、あれば双眼鏡
- 申込・問い合わせ先／木村 Tel.0593-32-4187(昼間のみ)



【宝さがし(ネイチャーゲーム)】

- とき／10月1日(火)AM10:00～正午(小雨決行)
- ところ／川越町内高松海岸(ピンクの旗が目印です)
- 参加費／100円(保険代など)
- 内容／講師は森野仲間の伊達伝司さんです。
- 持ち物／帽子、筆記用具、水筒、バンダナ(大型ハンカチ)、歩きやすい服装
- 申込・問い合わせ先／加藤 Tel.0593-32-9327

伊勢の国 阿漕が浦 迎月の宴

- とき／9月14日(木)PM5:30～PM8:30(雨天順延)
- ところ／津市阿漕が浦海岸(JR阿漕駅東へ1km・バス停下弁財300m・臨時駐車場有)
- 内容／海に昇る中秋の名月をバックに高度な芸能美で、幽玄と雅びの世界を再現します。
- 1・新舞踊…田中社中、2・民芸…津民芸保存会、3・舞踊…紀の元社中、4・弘田龍太郎を歌う…近藤悦子さん、5・箏「秋のうた」…津奈乃会、6・海の満月…高虎太鼓保存会、7・能「阿漕」…無形文化財総合指定 長田驍能楽師と「長袖会」。会場内での飲食は自由です。なお、この催しは市民一人ひとりの協力で実現することになります。主催者ではスポンサー協賛1口10000円、協力参加1人1000円を呼びかけています。
- 主催・問い合わせ先／514-0834 津市大倉10-21 特定

非営利活動法人阿漕浦友の会 Tel.059-226-7974

- 特別協賛／N.T.E.ジャパンクラブ、(社)日本ナショナルトラスト協会「ナショナルトラスト夢ファンド」
- 後援／三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会、(社)日本ナショナルトラスト協会

みんなで考える…

ノーマライゼーション・ソサエティの実現

- 平成12年度障害福祉関係者研修会・第7回そよかぜ福祉塾講演会
- とき／9月14日(木)PM1:30～
- ところ／松阪庁舎6階 大会議室 ●参加費／無料
- 内容／「健常者が考えるバリアフリーは何か違うのでは」と感じたことはありませんか。普通に暮らすということを実践されている小倉健太さんに、本来のバリアフリー社会のあり方のヒントをいただこうと思っています。小倉さんは脳性マヒというハンディキャップを持ちながらも様々な資格を取得するとともに、マーケティングにも興味を持ち、通信講座を利用しながら勉強を続けています。また、障害を持ちながら生活していくことへの不便さや社会の問題点を多くの方に理解してもらうために講演活動を行っています。現代社会のメガトレンドでありますバリアフリー、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインをもう一度考えてみませんか。
- 【講演】「障害者がふつうに暮らすこと」 小倉健太さん(鈴鹿ベルシティ福祉の店「バレット」店長)
- 申込・問い合わせ先／松阪地方県民局保健福祉部福祉保健グループ 羽根正樹 Tel.0598-50-0520

まつさかチャレンジド・プレイス希望の園保護者会主催 「現代国際巨匠絵画展」

- とき／9月15日(金)～17日(日)AM10:00～PM7:00(最終日PM6:30)
- ところ／松阪商工会議所1階大ホール
- 内容／毎年東京でおこなっている「希望の園展」や「国内外の展覧会」への参加など、日頃の芸術活動が縁で実現した創設20周年(平成13年)記念・プレ・イベントです。ピカソ、シャガール、東山魁夷、小倉遊亀など国内外の世界的有名作家の作品、120点あまりを展示、販売します。ぜひ、ご鑑賞ください。なお、売上金の一部は希望の園の法人化に向けた資金などや、より発展的な社会活動などのための資金とさせていただきます。
- 問い合わせ先／まつさかチャレンジド・プレイス 希望の園
Tel.&Fax.0598-21-1192

学校ビオトープ・シンポジウム in 中部

- とき／9月22日(金) AM9:30～PM5:00、23日(祝) AM10:00～PM4:00
- ところ／名古屋市教育館(名古屋市教育センター分館、名古屋市中区錦3丁目16番6号)
- 参加費／見学会(バス・昼食含む)5000円 シンポジウム(資料代等)1000円
- 内容／22日はビオトープ見学会を行います。見学を行うのは深溝小学校(案内は渥美守久さん)、ソニー幸田(株)企業緑地見学(案内は総務部加賀真さん)、形原北小学校「形北の森」及び西浦小学校「きじっ子の森」見学(案内は渥美守久さん)です。
- 23日はシンポジウムを行います。パネル討論のコーディネーターはビオトープを考える会会長の長谷川明子さんです。この他、(財)日本生態系協会会長、池谷奉文さんと富士常葉学園大学助教授、山田辰美さんによる特別講演も予定しています。なお、23日の当日スタッフを現在、募集しています。お手伝いいただける方は下記の

小川までご連絡ください。

- 募集人数/見学会40人、シンポジウム200人
- 応募締切/9月10日(日)
- 申込方法/郵便口座に入金してください。定員に達し次第締切です。口座通帳記号12380 番号37918631
- 加入者名(特非)学校ビオトープ・ネットワーク
- 申込・問い合わせ先/学校ビオトープ・ネットワーク(村上 敏)
Tel.054-653-0107 Fax.054-653-0108
E-mail murabin@lilac.ocn.ne.jpまたはinfo@fge.co.jp
- 問い合わせ先/「ビオトープを考える会」事務局(小川 明)
Tel.&Fax.052-805-8085
E-mail ogawa_akira@tamano.co.jp(Office)
xiao_ming@msn.com (Private)

第2回環境コンセンサス会議

～南の楽園が海に沈む?～

- とき/9月23日(祝)、30日(土)PM2:00～PM5:00
- ところ/三重県市民活動センター
- 参加費/500円 ●募集人数/10人
- 内容/地球温暖化で海面が上昇し、島が沈むなどいろいろなことが懸念されています。しかし、そんなことが本当に起こるのでしょうか?ちょっと一緒に調べてみませんか?興味を持った方は第1回の資料がありますので、お気軽にお問い合わせください。
- 申込・問い合わせ先/514-0004 津市栄町1-954 市民活動センター一気付私書箱30 Tel.090-8954-2328(中野勝行)E-mail nakano@helium.eco.tut.ac.jp
- 主催/EcoVision(エコヴィジョン)

講演会「暴発する若者達～その背景を読み解く」

- とき/10月8日(日)PM1:00～PM3:00
- ところ/三重県女性センター多目的ホール(津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1131)

- 入場料/前売券1000円 当日券1200円
- 内容/若者たちは変わってしまったのでしょうか。それとも何人かの例外的な青年に世間が慌てふためいているのでしょうか。人のいのちを支え、子どもの育ちを支えていくことを求める三重いのちの電話はこの難しい問いを理解するキッカケを求めて講演会を企画しました。講師は日本児童青年精神医学会会長、三重いのちの電話協会理事長である医学博士の清水将之さんです。なお、収益はすべて三重いのちの電話運営費として使われます。
- 募集人数/500人
- 申込・問い合わせ先/特定非営利活動法人三重いのちの電話協会 Tel.059-213-3975(月～金PM1:00～PM4:00) Fax.059-213-3976(終日)
- 主催/特定非営利活動法人三重いのちの電話協会

熊野古道歩こうフェスタ開催

- とき/10月8日(日)～11月5日(日)の土、日、祝祭日に実施。
- 内容/昨年東紀州体験フェスタで注目を集めている東紀州地域で、熊野古道を利用したイベントを開催します。期間中は尾鷲よいとこ祭り、きいながしま港市など各地域で注目度急上昇の様々なイベントとタイアップして熊野古道ウォークを実施する予定です。【プログラム】
- 10月8日(日)馬越峠/オープニング・ルネ尾鷲
- 10月9日(祝)八鬼山峠/八鬼山悲話人形劇
- 10月14日(土)ツツラ峠/港市・ツツラコスモスコンサート
- 10月15日(日)荷坂峠/こども樹木博士
- 10月28日(土)始神峠/俳句でハイクと矢吹紫帆星空コンサートin豊浦
- 10月29日(日)楯ヶ崎遊覧ツアー
- 11月3日(金)猪ノ鼻水平道/ハイキングのみ(健脚向き)
- 11月4日(土)ハイキングのみ(健脚向き)
- 11月5日(日)馬越峠/尾鷲よいとこ祭り
- 申込・問い合わせ先/紀北県民局企画調整部
Tel.05972-3-3409 Fax.05972-3-2130
E-mail okikaku@pref.mie.jp

まちづくり交流フォーラム 研究集会“2000” in MIE —自立・協働・交流—

- とき/9月3日(日)～12月3日(日)
- 総合案内/三重県集会実行委員会 514-0004 三重県津市栄町1-954三重県市民活動センター内 Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 Email open@mienpo.net
まちづくり交流フォーラム 460-0008 名古屋市中区栄3-18-1 13F アルパック内 Tel.052-238-1600 Fax.052-238-1601 Email VECO2315@nifty.ne.jp
- 【オープニングセレモニー】●とき/9月3日(日)
『第1部 PM12:30～PM1:30』
●ところ/四日市市文化会館(四日市市安島2-5-3 Tel.0593-54-4501)●問い合わせ先/四日市青年会議所 Tel.0593-38-9854
E-mail takashige@msb.biglob e.ne.jp
『第2部 一つながる一 PM2:00～PM3:30』
●ところ/四日市・津・上野・松阪・伊勢・尾鷲の県民局
- 【9月中に開催する研修集会一覧】
1.『「循環型社会ってな～に?」—捨てればゴミ 生かせば資源—』
●とき/9月3日(日)PM2:00～PM4:00●ところ/近鉄アートホール(四日市市諏訪栄7-34 Tel.0593-54-7900)●問い合わせ先/デポネットみえ Tel.0593-33-6909 E-mail taiyo@cty-net.ne.jp
- 2.『TALKING war⇄peace 子どもが育つまち』
●とき/9月3日(日)AM9:00～PM4:30●ところ/四日市市文化会館(四日市市安島2-5-3 Tel.0593-54-4501)●問い合わせ先/(特)三泗地区子ども劇場センター Tel.0593-51-6367 E-mail sansic-c@cello.ocn.ne.jp
- 3.『旅人よ集まれ!俳句交流フォーラム 芭蕉の旅どころ—21世紀の旅どころ』
●とき/9月14日(木)PM1:00～PM5:00●ところ/久居市市民ふれあいセンター(久居市新町994ポルタひさい)●問い合わせ先/NPO俳句みえ Tel.059-255-2651
- 4.『円卓会議「地域経営の戦略と仕組み」 「境界を越えて、輝く人たち」—一人一人から始まる広域のまちづくり—』
●とき/9月16日(土)PM12:30～PM5:00●ところ/ふるさと多度文学館(桑名郡多度町多度2-24-1)●問い合わせ先/広域まちづくり実行委員会 Tel.0594-48-7905
E-mail rivers@pop21.odn.ne.jp
- 5.『東紀州フォーラム2000 いま水辺に心の安らぎを求めて—生態系にやさしい水辺づくり—』
●とき/9月16日(土)～17日(日)(16日PM7:00～PM9:00講演会)●ところ/海山町中央公民館(北牟婁郡海山町相賀481-1)●問い合わせ先/東紀州フォーラム実行委員会 Tel.05972-2-3539
E-mail owasejc@aqua.ocn.ne.jp
- 6.『地域の歴史・文化・環境を活かすまちづくり』
●とき/9月30日(土)AM10:00～PM4:00 ●ところ/桑名市中心市街地&六華苑(桑名市桑名字鷹場663-5) ●問い合わせ先/平成の町割会 Tel.0594-24-1365
E-mail ccp41922@syd.odn.ne.jp

三泗地区子ども劇場センター

「少女と老女のポルカ」の作・演出家 古城十忍氏のお話と交流会

- とき／9月29日(金)PM7:00~PM9:00 (中高生対象)
30日(土)AM10:00~正午(大人対象)
- 参加費／大人1100円 子ども500円
- 内容／10月に公演される「少女と老女のポルカ」の作・演出家である古城さんの『子ども』観についてうかがいます。彼は現在の子どもの取り巻く環境をどう考えているのでしょうか。

劇団一跡二跳 「少女と老女のポルカ」

- とき／10月11日(水)、12日(木)PM7:00~
- ところ／四日市市文化会館第2ホール
- 特別会員券／大人3500円 中学生以下2500円
- 内容／一人暮らしの老女と小学生の少女の共通点は好きな人が同じ名前ということ。そして…。「死をどう受け入れるか」、「孤独とどう向き合うか」、「教育って何?」、「親と子の絆って?」。難しいメッセージを折り込みながらも愉快でポップな舞台に仕上がっています。また、全ての登場人物を男優が演じるため、想像する楽しさも味わえるのです。対象は小学4年生以上。有料の託児もあります。
- 申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人三泗地区子ども劇場センター Tel.&Fax.0593-51-6367

ネットワーク のよびかけ

Pep-Com/パソコン講師ボランティア募集

パソコンが大好きな人、ボランティアに興味のある人、障害を持っている人や、高齢者にパソコンを教えてみませんか?「え〜、講師なんて」って思ってる人も大丈夫です。講師としてデビューする前に1ヶ月の研修期間があります。この講師養成講座では講師4人の体験談を交えながら、楽しく講座を進めていきます。講座終了後、講師として登録していただき、その後講師をしていただいた場合には講師料として3,000円(1回の講座分)お支払いいたします。気軽に始めてみましょう。パソコン講師ボランティアに興味はあるけれども都合が合わない方も一度ご相談ください。

【講師養成講座】(Word、Excelを使える事が条件です)

- とき／9月5、12、19、26日毎週火曜日(4回で終了です)PM6:30~PM8:30
- ところ／Pep-Com事務所 ●受講料／1回1500円
- 申込・問い合わせ先／久居市森町165 Pep-Com Tel.&Fax.059-254-2525 E-mail pepcom@ruby.ocn.ne.jp

三重県女性起業家支援クラブ主催

“ハイブリッド・ファミリー”やすらぎの会

- とき／9月4日(月)AM10:00~PM5:00(参加時間自由)
※毎月第1月曜日開催
- ところ／ハイブリッドフォーラム四日市事務所(塩浜街道沿い 塩浜交番隣り。近鉄塩浜駅から徒歩7分) ●会費／2500円
- 内容／人とのふれあいを求めて…。物の豊かさ、便利さを求めすぎ走り続けてきて今、人間として何かとても大切なものを忘れかけているような気がします。高齢化社会にむけ「よき出逢い、人とのふれあい」をテーマにみんなで作ってゆくの会です。参加者で昼食を準備します。メニューはきのご飯とお月見団子を予定。また、

焼き物づくりや雑談を通して交友を深めます。

- 申込・問い合わせ先／鈴木愛子 Tel.0593-64-7463
Fax.0593-64-2549

森林利用を考えるスタディーツアー 実行委員会開催!

10~11月にかけて行うスタディーツアーの第1回実行委員会です。人工林、里山、雑木林…たくさんの森林とそれを取巻く問題があります。そこで、三重県内の多様な森林を見ながら、現在どのような利用がなされ、どんな問題があるのか現場を見ながらいっしょに勉強しませんか?

- とき／第1回実行委員会 9月17日(日) PM1:00~PM3:00
- ところ／三重県市民活動センター
- 申込・問い合わせ先／514-0004 津市栄町1-954 市民活動センター気付 私書箱23 Tel.090-8554-4063(黒木由美) E-mail kirin@bl.mmtr.or.jp
- 主催／木林(きりん)

まつりをゼロエミッション(ゴミゼロ)地帯に! めざせ100%資源化!

津まつりのトラッシュメンバー大募集中!

ゴミをゴミと思うなかれ。活かせば立派な資源です。ゴミから地球が、まちが、お店が、物の流れが、自分のライフスタイルが見えてきます。具体的な実施案はまだ未定。あなたの意見をぜひ採り入れさせていただきます。一緒につくっていきましょう。

- 津まつり日程／10月7日(土)~8日(日)
- 問い合わせ先／「まつりねっと」代表世話人 岡嶋多華夫
Tel.070-6556-5920 E-mail oka-g@pdx.ne.jp

ひろがれ友情・ひろがれ仲間

第2回津市知的障害者生活交流会 ボランティア大募集!!

昨年に引き続き、知的障害者への理解と啓発を目的にお祭りを開催します。そこで、ゲームコーナー担当やバザーの売り子さん、子どもたちと一緒に遊んでくれるなど、一緒に盛り上げてくれるそんなボランティアさんを大募集します。どうぞ気軽に申し込んでください。

- とき／11月26日(日) ●ところ／お城西公園(津市)
- 募集人数／50人 ●申込締切／10月15日(日)
- 問い合わせ先／津市知的障害者生活交流会実行委員会
Tel.059-225-3930

ききゅう船にご入会のお願い

暑かった夏もそろそろ終わりを告げる時期が近づいてきました。さて、秋になったら何か始めようかなあと思っているあなた。そんなあなたに、ききゅう船からラブコールです!!私たちと一緒に活動しませんか?ききゅう船は、昔話を中心に子どもたちに語り聞かせをしているグループです。おはなしを通して子どもたちと語り手の私たちが同じ時間を共有できることはとても貴重な“場”です。そんなききゅう船も早いもので10年を迎えます。活動場所も少しづつですが増え、定着してきました。2か月に1度のおはなし会を楽しみにして頂いている保育園とも長いお付き合いになり、励ましのお言葉をかけて頂き私たち会員の良きアドバイザーです。会員は、小人数ではありますが、和気あいあいと楽しく活動しております。ききゅう船のモットーは、実践あるのみ!!皆様のご入会を、お待ちしております。

- 例会／津中央公民館 毎月第4月曜日 AM10:00~正午

- おはなし会／津市図書館 毎月第4土曜日 PM3:00～PM3:30、県立図書館 毎月第2土曜日 AM11:00～PM11:30、松阪市内保育園 年6回
- 問い合わせ先／上永その実 Tel.&Fax.059-228-0276 三浦 智子Tel.&Fax.059-224-6995

フリーマーケット情報

【中勢フリーマーケット協会の開催予定】

- 9月3日(日)AM10:00～PM3:00 松阪中部台運動公園 会員1300円、一般1500円、プロはプラス1000円 超人気スポットの出店者募集開始です。MAX150ブース。いっぱいになり次第終了ですので、申込はお早めに。
- 申込方法／直接次の郵便振替口座に振込。00870-0-121921
- 問い合わせ先／安芸郡河芸町大字中別保2434-5 中勢マーケット協会(若林都史子) Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334(平日PM4:00以降に)

【パールロード・フリーマーケット出店募集】

- とき／平成12年9、10、11月の第2・4日曜日 9月10日、24日(日)AM9:00～PM3:00
- ところ／鳥羽展望台(鳥羽市国崎町字大岳3-3)
- 出店料／500円(2m×3mのスペース)
- 内容／募集対象者は個人、グループなど。1回の開催で20ブース募集。展望台との類似商品の販売は禁止です。
- 問い合わせ先／516-0021 伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4 (財)三重ビジターズ推進機構総務企画グループ(上村) Tel.0596-22-7700

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

- とき／毎月第4日曜日 9月24日(日)AM10:00～PM3:00(雨天中止)
- ところ／近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上
- 参加費／1ブース500円
- 申込・問い合わせ先／久居フリーマーケット連絡会(山口登) Tel.059-252-2117 E-mail issniki@quartz.ocn.ne.jp

助成金 ニュース

グレートブリテン・ササカワ財団 2000年秋期助成事業

- 受付締切／9月30日(土)※審査会は年2回(春・秋)開催。
- 助成の対象となる団体／イギリスまたは日本国籍を持つ人または組織、団体。個人の研究のため個人が申請することはできませんが、個人の活動を支援する組織からの申請は受付ます。団体には学校、研究グループ、有志のグループも含まれます。
- 助成の対象となる活動／文化、経済、科学など様々な分野を通し、イギリスと日本との相互理解を深めるための活動。
 1. 人物交流／イギリスよりの来日と日本からの訪英に関する援助。
 2. 文化交流／美術展、演劇、音楽、スポーツ等の日英交流に関する援助。
 3. その他／社会福祉、文化、教育、科学などの分野での調査研究活動、国際会議・セミナー開催に関する援助。
- 助成対象事業の期間／平成12年以降に開始される事業。
- 応募方法／下記の内容を簡単にA4用紙2枚以内にまとめ、プロジェクト英文要旨(A4用紙1枚以内)を添えて申込んでください。

1. 申請団体名(和文名および英文名)、代表者または申請者名(フリガナ)。
 2. 連絡先:住所、電話、Faxなど。
 3. プロジェクト名(和文名および英文名)。
 4. プロジェクトの概略:簡単に意義、目的、実施期間などを説明。
 5. プロジェクトにかかる総費用と希望する助成金額(他の財団へ助成申請している場合はその財団名と期待額を明記)。
 6. 申請団体の内容および申請者とプロジェクト参加者の紹介。
 7. 当財団のことをどちらでお知りになったか。
- 申込・問い合わせ先／グレートブリテン・ササカワ財団 東京事務所 108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館10階 Tel.03-3798-5971(電話による問い合わせは月・木のAM10:00～PM5:00に) Fax.03-3798-5973 E-mail gbsf@spf.or.jp

(財)朝日生命厚生事業団 数納(かずのう)賞

- 受付締切／11月30日(木)
- 賞の対象／児童の健全育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設など)、地域組織(子ども会、母親クラブなど)、家庭相談員、里親などの活動の具体的実践報告。
- 原稿用紙と記載方法／B5版・横書き400字詰、30枚程度を厳守。黒のボールペンまたは黒インクの万年筆を使用。ワープロ使用の場合は20字×20行横書きで。原稿の添付資料は予備審査の時に請求することがあります。
- 明記事項と報告の概要／原稿と別に、報告題名、住所・氏名(フリガナをつける)、年齢、職業、連絡先、電話番号を明記した用紙と報告の概要(400字詰3枚に要約)を添付。
- 応募上の注意／応募原稿・添付資料は返却しません。すでに他団体の企画に応募した重複論文等については応募できません。
- 受賞・数納賞1編(賞状と賞金30万円)、佳作4編(賞状と賞金各5万円)。ただし、該当するものがなく見合わせることもあります。また、佳作に準ずると評価された報告は選外ながら特に数納賞奨励賞(賞状と賞金3万円)を設けます。
- 選考基準／
 1. 活動の先駆性、普及性、社会的効果性。
 2. 地域(地域住民、各施設、行政など)との連携状況。
 3. 自己の活動への客観的検証。
 4. 文章構成における論理性。
 5. 実践記録としての価値。
- 応募・問い合わせ先／(財)朝日生命厚生事業団 160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-14 Tel.03-3342-0604～5(担当/西村)

(財)ポーラ伝統文化振興財団の助成

- 受付締切／12月締切
- 助成の対象となる団体／一個人・団体につき一件の申請に限定。団体の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることが原則。
- 助成の対象となる活動／日本の無形の伝統文化(伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能、行事など)を保存・伝承・振興するために行う事業で、有益な成果が期待できるものに対して補助的な援助を行う。具体的には目的に関連した以下の分野など。ただし、営利を目的とし、あるいは結果が直接営利に結びつくような事業や海外のみを対象とした事業は助成対象となりません。
 1. 基礎的、または表に現れにくい地味な仕事(下職、裏方、道具、原料づくりなど)に関連した分野。
 2. 後継者として期待できる若い人または若手グループに関連した分野。
 3. 記録、研究、普及など将来にわたり有益な業績・効果が期待できる分野。
 4. 民俗芸能・行事などの歴史的、学術的に重要で緊急性のある分野。
 5. 民俗芸能・行事などの伝承を目的とした子どもグループや若年層の活動、学校教育活動などの分野。
- 助成対象事業の期間／通常は当財団の一事業年度単位(4月1日～翌年3月31日までの1年間)。条件により長期にわたる場合も。
- 助成の額／1件あたり30万円程度から200万円程度。ただし、条件により2～3年の分割とする場合があります。
- 応募方法／財団所定の申請用紙に記入後、書留にて送付。
- 問い合わせ先／(財)ポーラ伝統文化振興財団 104-0061 東京都中央区銀座1-7-7 Tel.03-3561-7408 Fax.03-3561-7480

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。そのホームページには多くの助成金情報が集まっていますのでご紹介いたします。http://www.jfc.or.jp/

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。山口由実子さんからリレーのバトンを受け取ったのは辻伽寿子さん。多言語の自然習得と国際交流の活動を行っている言語交流会ヒッポファミリークラブのメンバーです。

ヒッポファミリークラブとは？

……ヒッポファミリークラブ（以下ヒッポと略）とはどんなグループなんですか？

正式には言語交流研究所ヒッポファミリークラブといます。東京に本部のある全国組織の活動で、アメリカ、メキシコ、韓国にも姉妹組織があります。多言語の自然習得と国際交流の活動を市民レベルでやっているNGO団体で、来年で設立20周年になります。キャッチフレーズは「7カ国語で話そう」です。

……最初、この団体が市民活動なのか、会社なのかよくわからなかったのですが？

団体自体は政治宗教に全く関係のない民間の非営利団体で、会社組織ではないです。もちろん、英会話スクールでもありません。

……辻さんがヒッポに入ったきっかけは？

以前から「外国語が話せたらいいな」と思っていました。でも最初、ヒッポのポスターを見た時は「7カ国語を話すなんて、すごいな」と思っただけで、案内に手も伸びませんでした。その後、テレビのニュースで活動が紹介されているのを見て、興味を持ちました。

……テレビを見て、自分で探したのですか？

近所で行われていた地域活動を見学しました。そうしたらみんなが本当に楽しそうにいろんな言葉話していて…。それを見て言葉に対するスタンスが変わったんです。これで話せるようになればというよりも、話せるようになったら面白い。それに、世界中の人たちと友だちになれたらすごくいいなって。あと、これもきっかけの一つかなと思うんですけど、ヒッポに入る前に新婚旅行でニューカレドニアに行ったんです。ここはフランス領なので街で英語が通用しないんですよ。それで英語重視という感覚が変わったのもあるんです。それが7年くらい前のことです。

……家族で参加しているのですか？

ええ、夫婦で。夫は大阪出身ですごく大阪弁にプライドがあったんです。大阪弁だけ話せばいいという感じで、英語も大嫌い。その彼がヒッポに入ったのは、私が参加する時に、どういう団体が認識できず「大丈夫かな？」と不安だったから。つきそいな気持ちで入ったんです。それが続いているうちに話せる喜びを見つけだして。それにヒッポにはいろんな立場、世代の人がいますから、仕事をとばらって人間対人間としてコミュニケーションできるのが楽しかったようで、それが自然に外国の人とふれあうまでに広がったんです。



週1回の集まりの様子です。ジャンケンや手遊びなど何気ない遊びの中にも韓国語や英語などいろいろな言葉が混じっています。

いくつもの言葉を自然に身につける

……多言語というと何種類の外国語を扱っているのですか？最初は日本語、英語、韓国語、スペイン語の4つから始まりました。その後、交流や実績を重ねることで言葉が増えてきて、今では15カ国語の活動になっていますが、あまり数にはこだわっていません。

……自然習得とありますが実際にはどんな方法なのでしょう？これまでの日本の教育だと外国語を覚えるには最初は文字、次に単語、文法という風な学習の仕方でしたよね。でもこれだとコミュニケーションはとれない人がすごく多いんです。これは日本が単言語の国であるということも影響していると思います。日本では基本的に日本語だけで話しますが世界を見ると単言語の国というのは少なく、インドやヨーロッパなどは国内で3つ以上の言葉を話しているんです。こういう国の人は日本語の習得がものすごく早いし、楽しくおしゃべりしながら学んでいけます。あとですね、世界中の人々の中で言葉の習得に失敗しない人というのがいるんです。それが誰かと言えば赤ちゃんなんです。赤ちゃんは勉強しなくても自然にその国の言葉が話せるようになりますよね。成長と共に自然に周りの環境から言葉を取り込んでいけます。ヒッポではそこに着目して、人間が自然に言葉を習得していく道筋とはどんなものなんだろうということの一つの大きな研究テーマとして考えています。

……具体的にはどうやって覚えるんですか？

赤ちゃんのように言葉に触れる環境をつくります。その道具の一つとして多言語が聞けるCDを使います。これを家や車で流して、音を取り込んでいけます。最初は言葉の区別もつかなければ、聞き取れないうちに終わっている所から、ぼんやりと言葉らしさがわかるようになりますね。コマーシャルとか、別に覚えたくなくてもキャッチフレーズが自然に頭に入ってくるじゃないですか。そんな感じです。

……聞きながら対訳ノートなどを見たりはしないのですか？ノートや辞書は使いませんし、先生もいません。ただCD自体に日本語とのバイリンガルが入っているものがあつたりします。あと、基本的に週1度集まって、ゲームや互いに話をしたりします。そんなグループが全国に700カ所ほどあります。

……聞いたことがない言葉でも大丈夫ですか？

聞いているうちになんとなくかかっていきますね。ヒッポではインドネシア語やタイ語など、アジアの言葉がたくさんあります。これらは初めて聞いたという人も多いですね。私もそうでした。

……話すことも自然と出来るようになるのですか？

言葉をどれくらい話せるかという認識は自分が思っているのと違っ

言語交流研究所

ヒッポファミリークラブ伊勢代表

辻 伽寿子 さんに

聞く



たりします。自分で話せるという意識が無くても、相手が話すことがわかれば、自分もこの言葉を知っていたんだという認識が生まれると思うんです。普通、言葉が通じなければ一歩引いてしまうでしょう。でも、ヒッポの人は「え、何?」と逆に歩み寄れるんです。これは話せる、話せないと自分が思うより前に、いろんな国の人と向き合っているからだと思います。

人と人との交流が世界に広がる

……もう一つの活動の柱として国際交流がありますが、どんなことをしているのですか?

具体的にはホームステイが中心です。国連や国際交流事業団(JICA)などを経由して研修員を受け入れたりしています。それに地域の行政が行っている国際交流関係の企画をボランティアとして手伝ったり。もちろん、日本から外国にステイするプログラムもあります。ヒッポの企画以外にも、伊勢の場合は、市の国際交流協会や三重県国際交流財団に登録をしていますので、そちらから声がかかることもあります。

「話したい」気持ちが育つ活動

ヒッポファミリークラブ

……ホームステイの方とはどんな交流をするのですか?

メンバーが腕をふるって一品持ち寄りで歓迎会とか。特別なことではなく、家族ぐるみで友だちづくりをしているという感じです。

……地域に住んでいる方との交流はありますか?

地域に住んでいる方の場合、お子さんが学校に行っていることでPTAのつながりができたり、会社と同じというつながりがありますね。あと、三重大学などにはたくさん留学生がいますから、活動と呼びかけにいったりも、それが縁で遊びに来てくれることもあります。

……外国の方と関わりと相談を受けたりしませんか?

特に相談所を設けたりはしませんが、日常的につながりがあれば自然とそうなることもありますね。以前、インドネシアの研修生の方が腹膜炎で2ヵ月ほど入院生活を送ったんですが、頼まれなくても、たくさんのメンバーがバックアップしました。日本語が話せなかったため、ずっと風邪だと思われていたのが実は盲腸だったんですよ。

……他にはどんな活動を?

伊勢ではまだありませんが、他の地域では小学校や中学校で国際理解講座の講師をすることもあります。また、小学校に英語教育が導入されるということで、点数目的ではなくコミュニケーションとして使える英語をどう取り込むかという相談を受けたりもしています。

……ちなみにヒッポの会費はいくらですか?

個人なら1ヵ月7000円。家族の場合は家族会費10000円プラス、人数かける1000円という形です。これはヒッポ全体への会費ですから伊勢だけでなく、全国どのグループにも参加できます。伊勢グループの会員数は1歳からシニア世代まで約50人です。

……辻さんはヒッポの役員ということですが、これは有償のスタッフなんですか?

有償というわけではないんですが、本部から研究補助費が出ます。もちろん、これを超えた場合は自腹になってしまいますね。あと、地域の活動をお世話する面もありますから、会場費やみんなに渡すお知らせ、そのコピー費などはある程度、本部から支給されます。

……何か面白いエピソードは?

「一言話せるだけで楽しい」というのを夫を見ていて実感したことがあるんです。以前、海外旅行に行った時、「7カ国語を話す活動を

しているのだから、絶対7カ国語を話そう」と心に決めていたらしいんです。何カ国語か話すうちに中国語を話したいと思ったのですが、なかなか中国人に逢えなくて…。その話をホテルでしたら「台湾からお客さんが来る」と教えてもらって。彼はすごく喜んで、台湾から来た女性に寄って行って「ニイハオ」って話したんです。でも、そこで気づいたんですけど、彼は「ニイハオ」と、さよならである「サイツェン」し知らなかったんです。この時は相手が英語を話せたので「こういう活動をしていて、中国語で話したかったけど後はサイツェンしか知らないんだ」と話しました。そうしたらその方が「あなたのように少ししか話せなくても、私たちの言葉で話しかけてくれたのは嬉しい」とすごく喜んでくれて。この時、言葉って人と人との間で使うものなんだなって改めて思いました。そしてヒッポの活動は気持ち伝わるというか「話したい」気持ちが育つ活動なんだって。

NPOのネットワークをつくる

……辻さんはヒッポ以外で国際交流のボランティアをしたりはしないのですか?

伊勢の国際交流協会が主催している日本語教室の立ち上げに関わったことがあります。ホームステイの受け入れもしていますよ。あと、個人で伊勢志摩NPOネットワークの会に参加しています。これは三重県南勢地域のNPO活動を活性化しようという集まりです。私は設立の時から役員で参加しています。

……具体的にはどんな活動を?

最初は南勢地域のNPOの活動実態調査から始まりまして、今では4つの委員会を軸に活動しています。一つはセミナー委員会。NPO全体を活性化するためのセミナー・講演会の企画や主催をしています。広報委員会では会報を2ヵ月に1度作成。私が所属している拠点づくり委員会ではネットワーク全体や、情報を収集するための拠点を立ち上げようと活動しています。もう一つは会員拡大委員会。この会をご存じじゃない方も多いですから活動を知っていただいて、仲間入りしてもらおうという活動です。あと、行政の職員向きのNPO学習会など企画や当日の進行などをすることもあります。

……辻さんはこの集まりをどう思っていますか?

楽しいですし、勉強になりますね。いろんな世代がいますし、活動分野は違っても、基本的に必要としていること、ボランティアや市民活動に対するスタンスは似通ったところがあります。

……他のグループと新しいつながりはできましたか?

特にどこかとタイアップして何かをしたということはないんですが、参加していくうちにそういう話が出かかったり、機会があれば一緒に…とお話しているところはあります。今は各団体同士で協力しあうよりも、参加している方の力をネットワークの会に集結して、全体を動かしている段階です。でもこの先、活動が広がってきたらそういうところも充実してくるんじゃないかなと思います。

言語交流研究所ヒッポファミリークラブ伊勢

住所/516-0804 度会郡御園村長屋2047-2-102

Tel.&Fax.0596-22-8401

辻 伽寿子さんはこの人を **紹介** します。

吉水理裕(よしみずまさひろ)さん

伊勢志摩NPOネットワークの会で知り合ったと言う吉水さん。鳥羽のまちづくりグループで活躍するほか、市内の小学校の改築に行政だけでなく市民の意見も取り込もうという活動を行っています。



総務庁主催「世界青年の船」のエクアドルスタッフのホームステイを受入れた時の写真です。

編集後記

夏休みもあとわずかですね。イベント情報に集まった企画も屋内で行われる講演会やシンポジウムなどが増え、秋の様子を感じさせます。思いをめぐらせるのにぴったりの季節。皆さんもなにかイベントを考えているのでは?そんな情報もお待ちしています。

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。